

KY11-01 Leg2 Cruise Summary

1. 航海情報

航海番号: KY11-01 Leg2

船舶名: かいよう及びROVハイパードルフィン 3000

航海名称: 相模湾に投入された2つのマッコウクジラー生物群集の遷移と
鯨骨付着二枚貝の幼生成長に関する研究

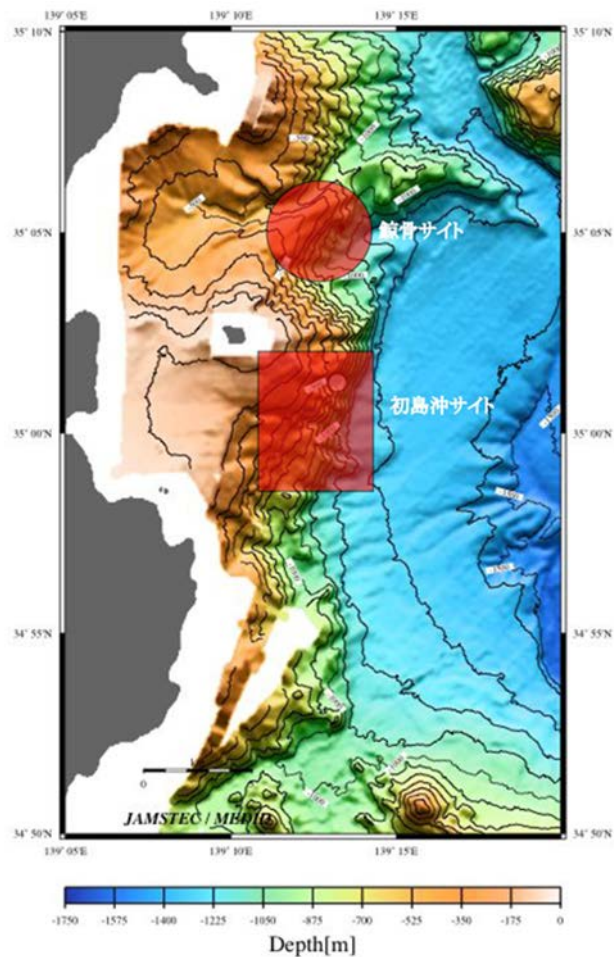
首席研究者: 大越健嗣 [東邦大学]

課題代表研究者: 大越健嗣 [東邦大学]

航海期間・出港地～帰港地:

2011年1月22日 (JAMSTEC) - 25日 (JAMSTEC)

調査海域名: 相模湾 (鯨骨サイト、初島沖サイト) 水深 800-1000m



● 調査概要

概要

2011 年 1 月 22 日から 25 日まで「かいよう」/「ハイパードルフィン 3000」を用いた KY11-01 Leg.2 航海を相模湾で実施した。鯨骨域、湧水域および初島沖長期観測ステーション近傍で計 4 潜航を実施した。

鯨骨域では、2005 年と 2008 年に沈設した 2 頭のマッコウクジラ遺骸周辺で、生物多様性、分散、蠕集機構を解明するための調査を実施した。このサイトでは、ほぼ毎年調査を実施しており、化学合成生物群集の形成と遷移に関する情報を蓄積している。本航海でもこのようなプロセスの継続的な記録と海底沈設期間の異なる 2 頭の鯨遺骸間での各種比較を実施した。

それぞれの鯨骨の観察を行った後、鯨遺骸周辺の堆積物や海水、蠕集するベントス及びプランクトン、鯨骨を採集した。試料は冷凍、固定あるいは生きた状態で持ち帰り、種の多様性、繁殖、栄養摂取、共生等について各研究機関で解析する予定である。

初島沖湧水域では、生息するシロウリガイ類やシンカイヒバリガイ類の分布パターンや大きさ、生活史等に注目して試料採集を行った。